

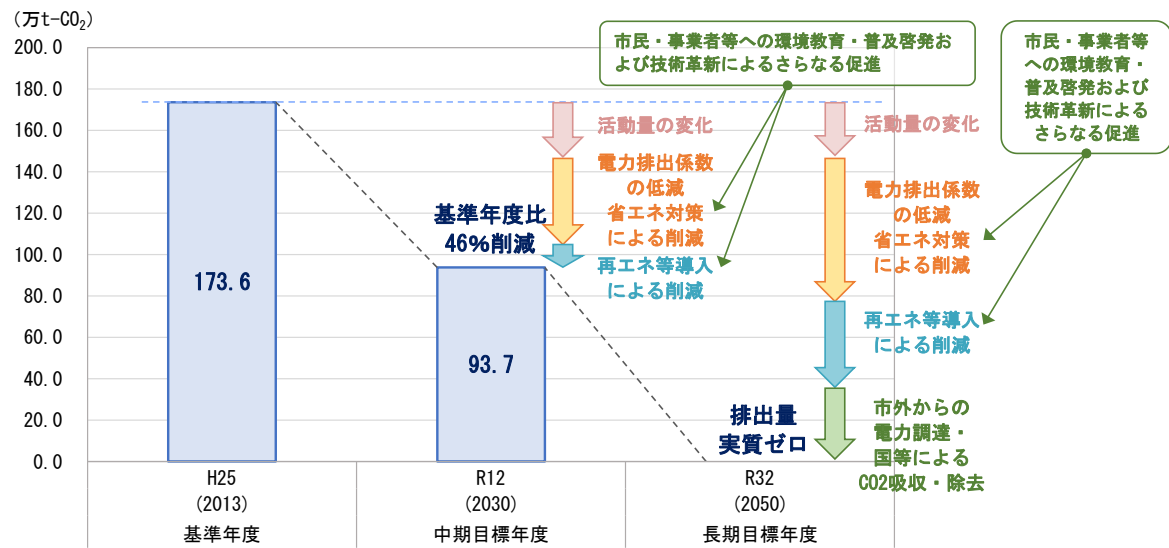
再生可能エネルギー導入目標と温室効果ガス削減イメージ

- 再生可能エネルギー等導入の中期目標は、市域における導入ポテンシャルが最も高く、これまでも取組を実施している太陽光発電をさらに拡充していく方針としました。
- また、温室効果ガス排出量の削減においては、2050 年ゼロカーボンシティの実現をめざして、2050 年度で排出量実質ゼロ、2030 年度で基準年度(2013 年度)比 46%の削減を目標として、さらなる取組を進めます。

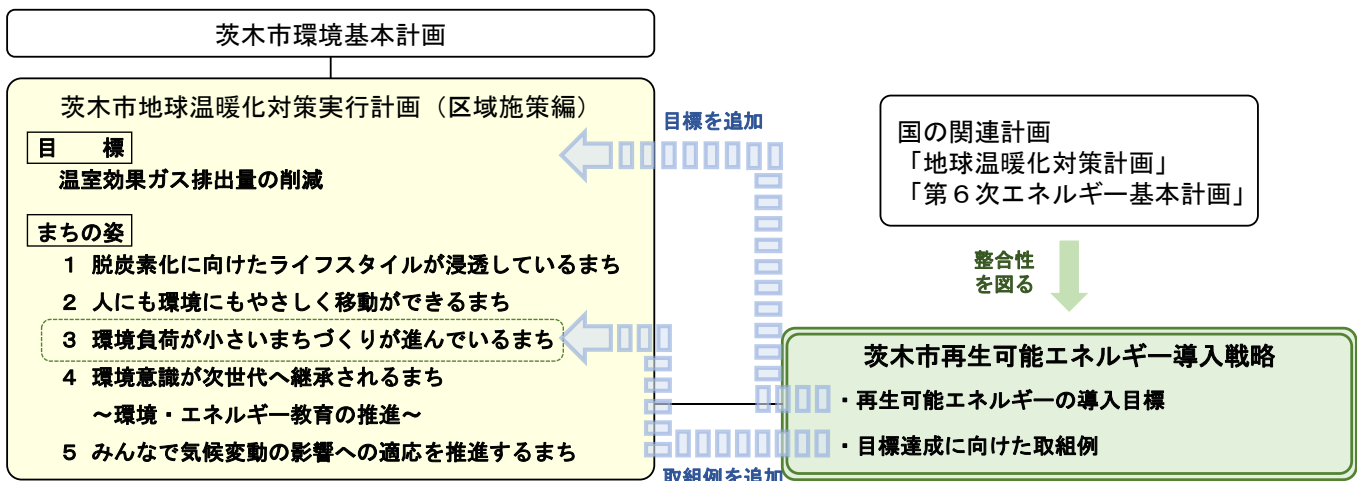
【再生可能エネルギー導入目標（中期目標）】

	直近年度 令和 2 年度（2020 年度）	中期目標年度〔累計〕 令和 12 年度（2030 年度）
太陽光発電	40 千 kW	83 千 kW

【温室効果ガス排出量の削減イメージ】



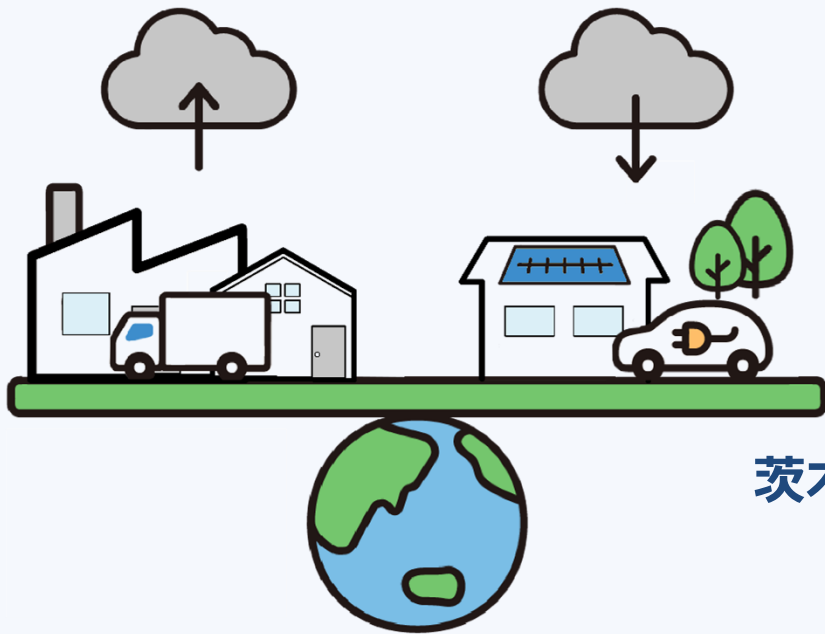
本計画の位置づけ



令和 6 年（2024 年）3 月
茨木市 産業環境部 環境政策課
〒597-8505 大阪府茨木市駅前三丁目 8 番 13 号
電話：072-620-1644 Fax：072-627-0289
E-mail：kankyoseisaku@city.ibaraki.lg.jp



茨木市 HP



茨木市再生可能エネルギー
導入戦略
〈概要版〉

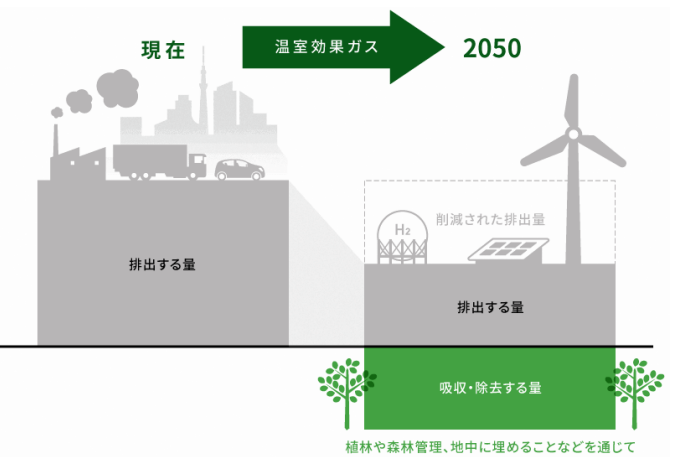
気候変動とその原因とみられる地球温暖化は人類の喫緊の課題となっています。国では、令和 3 年 6 月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」の一部が改正され、再生可能エネルギー導入目標の設定が義務付けられました。

本市では、令和 4 年 3 月に 2050 年二酸化炭素実質排出ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」を表明しており、脱炭素移行の取組を推進するための地域脱炭素実現に向けた再生可能エネルギー導入のための計画として「茨木市再生可能エネルギー導入戦略」を策定しました。

本戦略は、「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」で示している「環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち」の実現に向けた再生可能エネルギー導入に関わる具体的な施策を推進するため策定するものです。

「ゼロカーボン（カーボンニュートラル）」とは？

- カーボンニュートラルとは、「温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする」、つまり、温室効果ガスを「排出する量」から「植林や森林管理などを通じて吸収する量」や「地中に埋めることなどにより除去する量」を差し引いてプラスマイナスゼロにすることを意味しています。
- 気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されています。
- 国民一人ひとりの衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスが国全体の排出量の約 6 割を占めるという分析もあり、カーボンニュートラルの実現に向けては、誰もが無関係ではなく、あらゆる主体が取り組む必要があります。



温室効果ガス

排出する量 + 吸収・除去する量 = 0

ゼロ

カーボンニュートラルの実現

出典：経済産業省ウェブサイト METI Journal ONLINE
「カーボンニュートラルって何？」

めざすまちの姿を実現するための具体的な取組イメージ

短期的な取組イメージ

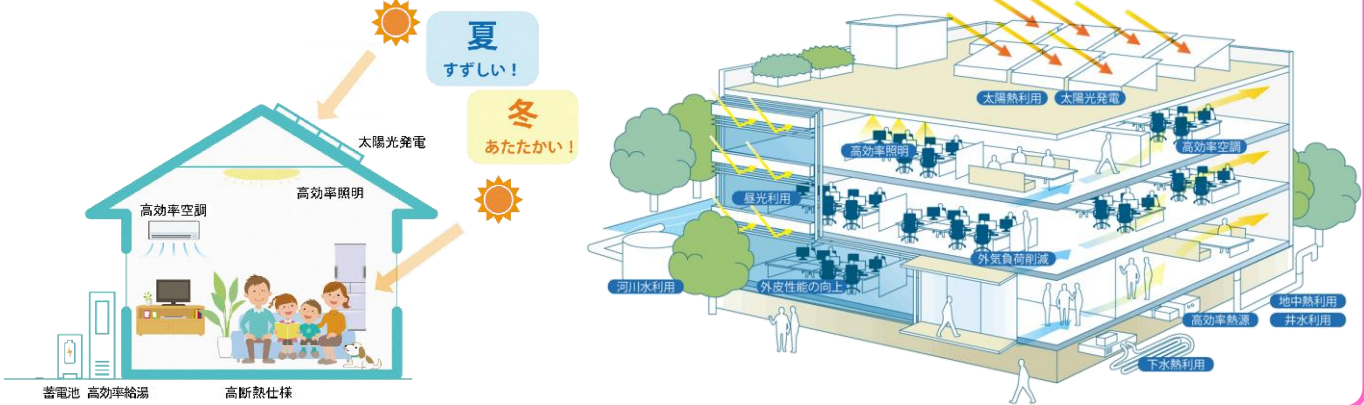
電気自動車（EV）の車載蓄電池を軸とした太陽光発電の導入



第三者モデル（PPA、リース契約等）による太陽光発電の導入



住宅・建築物の省エネ性能の向上を伴う ZEH・ZEB 化

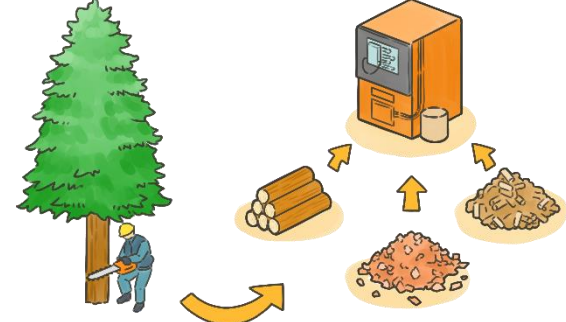


中長期的な取組イメージ

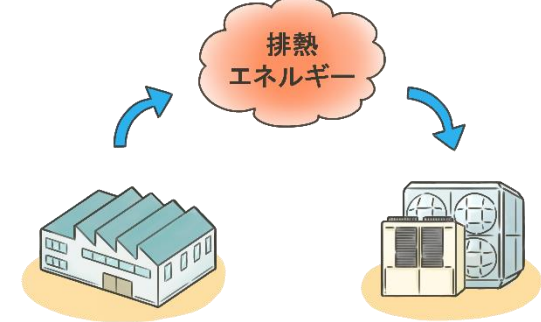
自家消費型小水力発電の導入



木質バイオマスによる給湯利用



排熱回収ヒートポンプシステムの導入



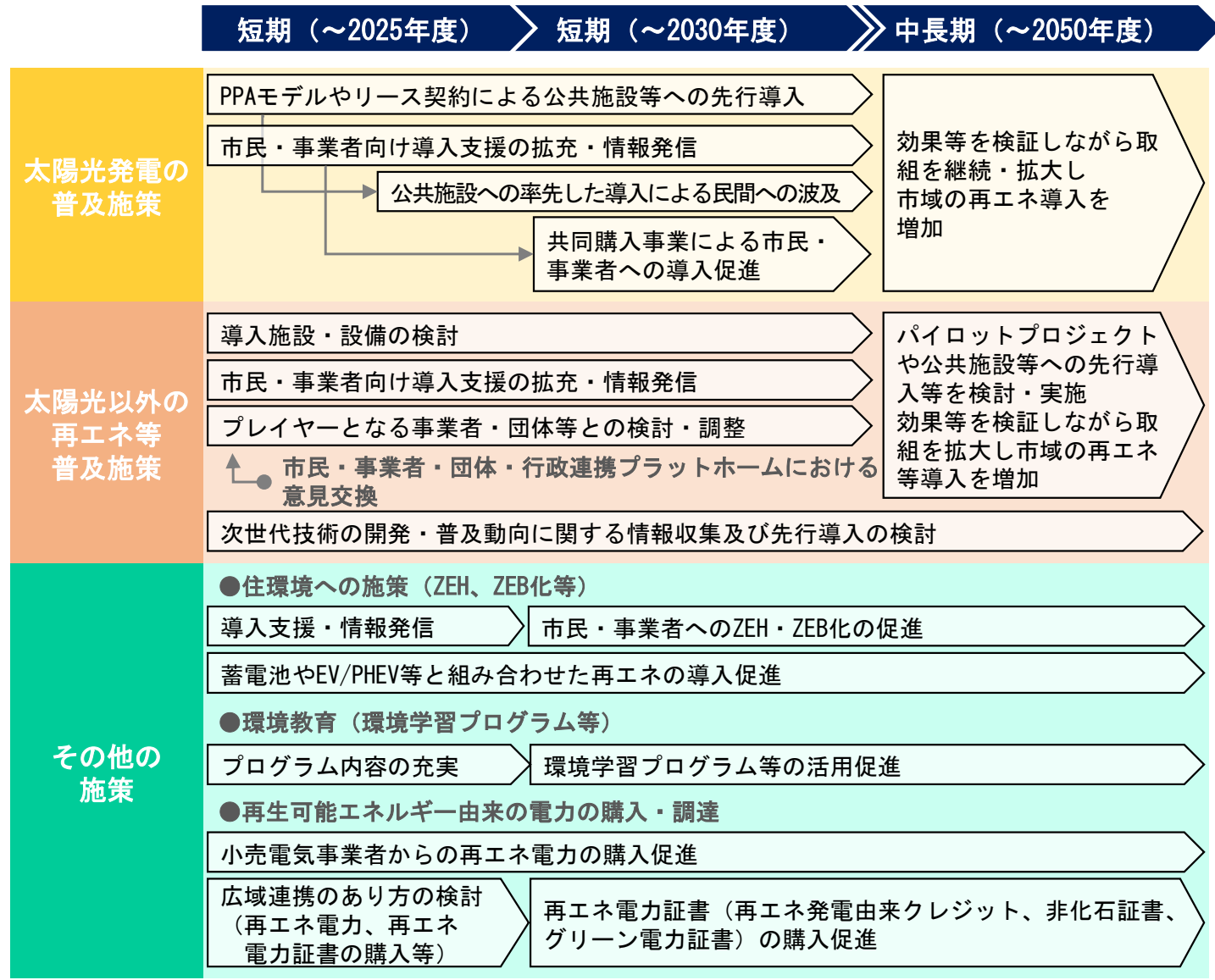
効果を検証しながら、市域の再エネ等設備の導入増加をめざすよ！



再生可能エネルギー導入のロードマップ

- 再生可能エネルギー導入の進捗状況については、代表的な取組である太陽光発電の導入実績により把握し、「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の中で進行管理を行います。
- 市民、事業者とともに協力・連携しながら市域全体で取組を進めていくことをめざします。

【再生可能エネルギー導入のロードマップ】



推進体制イメージ

市民・事業者・団体・行政連携プラットフォームにおける意見交換



地域脱炭素の実現に向けては、再生可能エネルギーの促進だけではなく、省エネルギーの徹底などみんなの協力が必要なんだ！

